

授業科目名称 : 地域福祉と包括的支援体制 I

授業コード : 13615

授業科目英文名称 : Community Welfare and Comprehensive Support Systems I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1	2	必修
担当教員			
韓榮芝 (実務経験のある教員)			
展開方法	講義		
ナンバリング	DA110		
添付ファイル			

ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標	評価手段・方法	評価比率
専門力	基礎的な地域福祉に関する用語を理解し、地域課題に積極的に取り組むことができる。	定期試験 小テスト 課題レポート	25% 10% 5%
情報収集、分析力	(1) 地域福祉の担い手のそれぞれの役割を整理できる。 (2) 国、都道府県、市町村行政や社協など福祉機関の情報を集め、既存資料の整理や新たな情報の獲得ができる。	課題レポート 小テスト 定期試験	15% 10% 25%
コミュニケーション力	地域福祉の歴史を踏まえ、現代地域社会の課題を把握し、様々な問題所在について考えることができ、地域福祉の現状と課題をテーマに合わせて表現できる。	授業への取り組み事前調べシート	10%
協働・課題解決力			
多様性理解力			
出席		受験要件	
合計		100%	

授業のねらい	地域福祉に関する基本的な考え方、展開、動向、地域福祉における主体と対象、住民の主体形成の概念を理解する。地域福祉を推進するために、地域福祉ガバナンスと多機関協働の実施体制と担い手の役割と実情を事前調べやグループワークを通じて学び、地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。全ての人の人権と自己決定、及び地域における福祉の問題について考え、地域福祉の現場(特に中核都市である佐世保市など)で直面する課題に主体的・積極的に対処する基礎的な力(ディスカッションや発表を行うことによって課題解決力)を身につけることを目的とする。			
アクティブラーニングの類型	①②③⑧⑨⑩			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	定期試験の成績を50%とし筆記試験を行う(択一式、記述問題など、50点のうち25点以上を取得すること)。小テストは20%とし、第6回目・10回目に15分程度の小テストを行う。課題レポートは20%、第8回目・11回目にそれまでの授業内容に関する課題を問う。毎回の事前調べシートの欄に記入した内容、コメント・質疑応答も授業への参加意欲と理解度の評価対象とする。 また、ポートフォリオの課題、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。ポートフォリオで、課題などのフィードバックを行うので確認すること。なお、不適切な授業態度(教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話などの使用、居眠りなど)は、発覚した場合に減点の対象となる。			
授業概要	地域福祉の基本的考え方と推進方法を知り、地域福祉に関わる国、都道府県及び市町村の役割、また国と地方自治体・社会福祉法人・社会福祉協議会との関係、住民組織、NPO・ボランティアなどの機関・団体の役割と機能、その現状・課題についてグループワークディスカッションなどを通じて学ぶ。また、福祉実践経験を持つ担当教員やゲストスピーカーによる講義内容についてポートフォリオで事前及び事後の学修を行う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。			
教科書・参考書・指定図書	教科書：日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 最新・社会福祉士養成講座 6「地域福祉の理論と包括的支援体制」 参考書：必要に応じ指示する 指定図書：日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 最新・社会福祉士養成講座 6「地域福祉の理論と包括的支援体制」中央法規出版			
授業外における学修及び学生に期待すること	指定教科書の次回授業予告箇所は必ず事前に一読して授業に臨むこと。 予習をしていれば多少難解でも授業は十分理解できるようになる。 また、講義を受けた後でその箇所を再読すれば、授業と復習とによって理解は確実なものとなる。			
授業計画	回	テーマ	授業の内容	予習・復習
	1	地域福祉の考え方	地域社会とは何か、その概念と理念などを学ぶ。	地域問題とは何か、自分なりに考えてみる。1章1節の内容を読んでまとめる。

2	地域福祉の動向①	地域社会の変化に伴う生活課題などについて知り得る。事前調べた内容を各グループで確かめ合う学修を行う。	1章1節を復習し、1章2節の内容を読んでまとめておく。
3	地域福祉の動向②	多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズとは何かについて学ぶ。	1章2節を復習し、1章3節の内容を読んでまとめておく。
4	地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題①	地域福祉の概念と範囲、及びその理念について学ぶ。 ソーシャルワーカーが社会的孤立や社会的排除の捉え方を理解する。	1章3節を復習し、1章4節の内容を読んでまとめておく。
5	地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題②	高齢者の介護領域で行われている地域包括ケアシステムについて、及び生活困窮者や子育てや障がい者領域の生活課題の実際を把握し理解する。	1章4節を復習し、2章1、2節の内容を読んでまとめておく。(小テストの準備)
6	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制①	小テストする。 包括的支援体制を構築するうえでの基本にある地域共生社会の考え方を学修し、法改正による重層的支援体制について理解する。	2章1、2節を復習し、2章3、4節の内容を読んでまとめておく。課題レポートの作成・提出を行う。
7	地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制②	包括的支援体制や重層的支援体制の実現に向けてのソーシャルワーカーの役割を理解する。	2章3、4節を復習し、2章5節の内容を読んでまとめておく。
8	フィールドワークとしての地域包括的支援体制(ソーシャルワーカーの役割)	佐世保市における地域包括ケアシステムの構築と発展・継続について事例から学ぶ。(ゲストスピーカー・実務家)	第2章の復習。課題レポートの作成・提出を行う。 3章の1、2節の内容を読んでまとめておく。
9	地域福祉ガバナンスと多機関協働①	ガバナンスの概念の意味と背景を理解する。相談支援や地域づくりにおいて、横断的連携や協働が求められる背景を理解する。	3章の1、2節を復習し、3、4節の内容を読んでまとめておく。(小テストの準備)
10	地域福祉ガバナンスと多機関協働②	小テストする。 地域福祉ガバナンスを進めるための協議の必要性及びそこにおけるソーシャルワーカーの役割を学ぶ。	3章3、4節を復習し、5節の内容を読んでまとめておく。
11	フィールドワークとしてのまちづくり(福祉以外の分野との機関協働の実際)	まちづくりにおける福祉施設と福祉以外の分野との機関協働について事例から学ぶ。(ゲストスピーカー・実務家)	課題レポートの作成し、4章1、2節の内容を読んでまとめておく。
12	地域福祉の基本的な考え方	地域福祉の概念と理論、その歴史と動向を学ぶ。	4章1、2節を復習し、4章3節の内容を読んでまとめておく。
13	地域福祉の推進主体①	地域福祉の推進主体と推進にかかわる主体(組織)についてその役割の実際を理解する。	4章3節を復習し、4章4節の内容を読んでまとめておく。
14	地域福祉の推進主体②	社会福祉法人の歴史と現状、地域福祉推進に果たす社会福祉法人の今後の役割と課題について学ぶ。	4章4節の内容を復習し、4章5節の内容を読んでまとめる。
15	地域福祉の推進主体③	民生委員・児童委員、保護司の歴史と現状、NPO法人やボランティアの歴史と現状について地域福祉推進に果たす今後の役割と課題について学ぶ。福祉教育の在り方について学ぶ。	4章5節を含め、全体内容を復習する。
16	定期試験		